

井の頭会 2021 年度事業報告

はじめに

76 年前日本は戦争をしていました。広島と長崎に人類で初めての原子爆弾が落とされ 20 万人以上の人々があつという間になくなりました。未だに後遺症で苦しんでられる方々が数多くおります。

二度と戦争をしないと誓い、日本国憲法を制定し、憲法 9 条によって 76 年の間一人も戦争で亡くなった子どもたちがいませんでしたが未だに世界ではウクライナやミャンマーなど紛争が絶えません。核戦争にもなりかねない不安が頭をよぎります。

井の頭会は戦後戦争の傷跡のある東京三鷹市で、福知としが引きあげ者の子ども達や貧しい家庭の子ども達を中心に井の頭公園で、仕事の休みの日を利用して青空保育を始めたのが井の頭保育園の出発です。

現在は井の頭保育園と松原保育園は、平和の中でこそ安心して子ども一人一人の興味や個性・知的能力が活かせる教育・保育が出来ると考えています。

一日も早くウクライナとロシアの戦争が終結することを願っております。

2021 年事業報告

保育園を取り巻く情勢

2022 年になってもコロナの状況は収まる気配がありません。保育園は感染予防と感染拡大防止対策の徹底に気を配りながら保育を行ってきましたが、井の頭保育園と松原保育園の園児や、保育者、保護者の感染も出てクラス休園をせざるを得ない事態になりました。法人理事会や、保護者会等々の会議もリモート会議など工夫しておこなってきました。

法人の運営報告

業務執行理事会を毎月会計の後におこなってきました。

- ・両園の施設交流を行いながら、運営・人事、当面の課題を話し合い、また、理事会等に向けて議題を提案できるようにしてきました。
- ・井の頭保育園と松原保育園の両園で保育内容を学びあうことを計画し、保育を見合う実践をして共通理解し意見交換を行い互いに良いところを取り入れてきました。その中で課題として、クラスを開く時の取り組みの違いが出たことなど論議され、今後は開いていく事を話し合いました。

- ・賃金給与規定の改正をおこなう準備をしながら理事会に提案してきました。
また、賃金支給に間違いが無いよう井の頭保育園園長と松原保育園の事務の江川さんで見合うように実践。又職員も自分達で管理できるよう新年度確認する書類を小玉園長が作成しました。
- ・組合からの春闘や要求書の申し入れがあり対応し理事会に提案してきました。
- ・組合とストの対応なども含め、組合との懇談会を開いて対応してきた。今後も職員・組合との懇談は信頼関係を築く上で必要と思われるので継続していく予定です。

定員の未充足と見直し等について

- ・コロナ禍での出産を控える傾向と少子化、育児休業延長等々による0才児を含む乳児未充足があり今後乳児定員の見直しなど両園で検討課題としていただきました。
- 同時に3歳以上児の幼稚園と保育園の保育料無償化に伴い、子ども園や幼稚園への転園等々による幼児の定員未充足も影響が出て来ていることもあるのではないかな等々出し合い、各自自治体の状況に応じて対応策を講じていく事など、今後の課題としました。

組織と役割

- ・理事会 新理事7名の人選を行う、年4回の定例理事と臨時理事会を行う。ほとんどが対面とリモート会議の併用会議と書面決議の開催としてきました。
- ・監事 新監事1名を含め、監事2名の人選を行いました。
- ・選任・解任委員会 2年に一回開催、2021年実施しました。
- ・評議委員会年1回開催しました

沿革

- 1950年 井の頭公園で福知トシが青空保育始める
井の頭4丁目の空工場跡地にて保育園始める
父母会立で5月1日井の頭保育園創立
- 1952年 9月父母会立初代父母会会長武者小路実篤氏で東京都公認保育園としてスタート
- 1963年 11月社会福祉法人井の頭保育園として認可、児童福祉法の適用を受ける
- 1968年 6月三鷹市牟礼4丁目の地に移転、
全国で初めて羽仁協子氏の指導でわらべうたによる音楽教育をおこなう
松岡享子氏と他園の方も交え語りの研修を始める
ハンガリーからフォーライ・カタリン氏を招きわらべうたの公開実践を行う
- 2003年 4月井の頭3丁目に引っ越す
0歳児(生後57日目より受け入れ)から就学前(幼児は異年齢混合)100名の保育

を新たにスタートする。

2010年 4月法人名を井の頭会に改める

世田谷区の松原保育園を新たに受諾し運営を始める

2018年 井の頭保育園の保育士職員が1名松原保育園に移動。

井の頭保育園、幼児2クラスにし1歳児と2歳児の定員を増やす

井の頭保育園：一クラス増えたことをきっかけに クラス名を植物名に変更する

2021年 松原保育園の改築工事に取り組むための準備に入る。世田谷区と仮園舎の契約書類の提出を行う。

参考資料（組織図他）